

乙訓圏域障がい者自立支援協議会
令和4年度 第5回人材確保・育成部会 会議録

日時 令和5年2月20日(月) 13:30~14:50

場所 乙訓福祉施設事務組合大会議室

出席者 12名

向日市社協障がい者地域生活支援センター、
こらぼねっと相談支援センター、大山崎町社会福祉協議会、第2乙訓ひまわり園、
障がい福祉センターあらぐさ、障害者支援施設晨光苑、乙訓の里、長岡京市商工会、
乙訓保健所福祉課、向日市障がい者支援課(2名)、大山崎町福祉課

欠席者 2名

乙訓障がい者基幹相談支援センター、長岡京市障がい福祉課、

事務局 2名

傍聴者 1名

配布資料 ・次第

- ・令和4年度 乙訓圏域障がい者自立支援協議会人材確保・育成部会 活動報告(案)
- ・京都新聞記事

会議概要

1 就職フェア(2/17)について

委員 ・まだ詳しい集計ができていないので概略になるが報告したい。先週金曜日に2市1町の事業所17社が参加してイオンモール桂川で行った。以前長岡京市のバンビオで行った時よりも来場者が多かったようだ。来場者は120から130人ぐらいだそう。例年より若い方が多かった印象だ。ハローワークと職業訓練の相談ができたのも良く、影響したようだ。企業によって効果のほどはさまざまだと聞いている。来年度も実施したいと考えている。

事務局 ・会場入り口の長机を1台お借りして「あらぐさ」「乙訓福祉会」「ひまわり園」「晨光苑」「友愛印刷」「てくてく」、児童発達支援事業所から「からふる」「ぼっとまむ」の参加だった。

・最初に多くの来場者があり、3人でチラシを配布した。「障がいのことを知らないの」と説明を求められる方もあった。

・ダイレクトに事業所に連絡があるか、チラシをみて基幹相談支援センターに問い合わせがあ

るかもしれない。

- 委員 ・ガツガツした印象はなかった。若い方でリクルートスーツの人もあった。仕事を選べる状況で、ゆとりがあるように思った。探りを入れて、条件等をみているようだった。
- 事務局 ・最初にハローワークから有効求人倍率について話があったが、乙訓は1倍を切っているようだ。マッチングが必要となり、求める仕事にたどり着けるかという感じだった。
- 部会長 ・男女比はどれぐらいか。
- 委員 ・半々ぐらい。主婦層もおられた。事務職は女性をはじめ広く人気があり、建設関係は閑散としていて、職種によって分かれていた。
- 部会長 ・福祉は興味があるようだったか。
- 事務局 ・高齢の福祉サービスは想像できるが、障がい分野はわからない前提で来られていた。チラシ裏のQRコードから見る動画は知ってもらうのに有効だった。「友愛印刷は目にしたことがある」、「ひまわり園のパンは知っている」等、近所にあるのはわかるが、生活介護などは説明しないとわからないようだった。
- 部会長 ・フェアを受けて来場者からの反応が事業所があれば事務局に報告をお願いしたい。
- 事務局 ・障がい福祉を知らない方に対して、「チラシ裏掲載の事業所では体験もできるので利用してほしい」と案内をしたので、問い合わせがあれば対応してほしい。

2 活動報告の確認

- 副部会長・資料「令和4年度 乙訓圏域障がい者自立支援協議会人材確保・育成部会 活動報告(案)」の1、2、3、4を読み上げなら説明。
- 部会長 ・ここまでで、一旦切ってみなさんからのご意見いただきたい。
- ・「求職者」と「求人者」という表現について「求人者」というのが一般的なのかどうかかわからない。以前は「学生」と「事業所」と表現していた。
- 副部会長・前年度は、「求職者」は、事業所や企業の意味合いで使っていた。文脈も含めて検討したい。
- 委員 ・あまり聞かないが「求人者」とも言う。
- 部会長 ・昨年度にならうなら「求人者」ではなく「事業所」となるのだがどうだろうか。特になければそのようにしたい。
- 事務局 ・4の3行目、「ちらしの活用」とあるが、チラシは今年度更新しているので、「チラシの更新と活用」としていただきたい。
- ・4の6行目、「アプローチを就職ガイダンスや就職フェアにおいて行いました」とあるが、就職ガイダンス、就職フェアという言葉が突然出てくるので、「後述する就職ガイダンス・・・」と入れてはどうか。
- ・(2)の1行目、「前年度作成したチラシ」とあるが、「今年度更新したチラシ」とした方がいいのではないか。
- ・3ページ目の3行目、「本来行うべきところへの移管が望ましい・・・」というところ、何を言っているのかわからないのではっきり言った方がいいのではないか。
- 部会長 ・事務局からの意見について、はじめから3点はそのまま修正したい。
- ・4点目について。次年度以降は新任職員連続講座を基幹相談支援センターに移管するという

ことだが、この表現についてどうだろうか。経過をみると、この連続講座は元々事務局が行っていた事業で、人材育成部会ができた時に当部会で取り組むことにしたが、また事務局に戻るということではないと思うが。

事務局 ・人材確保に関する事業は、基幹相談支援センターが担うように昨年度依頼をし、了承されている。しかし、今年度は基幹相談支援センターが担うことが難しく事務局が行った。来年度は連続講座もしっかり担当してほしい。部会の方でもバックアップはすることになっている。

部会長 ・それは後半部分でふれている。

副部会長 ・2度同じことが書かれているのもどうかと思ったので、この部分は「どうあるべきかを提案した」という形をとった。

事務局 ・基幹相談支援センターが「本来行うべきところ」となるのだろうか。

部会長 ・部会として養成講座の形づくりをし、一定の成果を得てレールにのせたので、後は基幹相談支援センターで毎年やってもらう。「本来行うべきところ」でもなく、「選択肢とする」ということもすでに終わっていると思う。「提案」という形がいいのだろうか。

副部会長 ・基幹相談支援センターに移管すると言い切った方がいいのではないか。

部会長 ・後半でもふれているので、「今回の成果を踏まえ・・・提案いたします」を削除してはどうか。

副部会長 ・それがいい。

部会長 ・いろいろな取組の実績として数字を入れてもいいのではないか。例えばチラシへの問い合わせ人数など。

事務局 ・2人か3人から連絡があったが、チラシ掲載事業所で実際には求人がなかったこともあり苦労した。就職フェアに参加するにあたり、乙障協や児童通所事業所連絡会に求人の有無を問い合わせると10か所あがってきて、現在の状況を把握できた。そのうち2か所は今回の就職フェアには参加していない。

部会長 ・後のマッチング状況を報告に書き込むのは難しいが、件数は入れてもいいのではないか。

副部会長 ・3人がいいか、3名がいいか。他の部会の報告とのバランスをとりたい。

部会長 ・同じように、新任職員連続講座の「多くの参加者」というところも具体的に延べ人数を、人材育成に携わる職員の交流会も参加人数をいれたい。

・部会開催以外の連続講座等の開催日はどこにも書かれていないがどうだろうか。

事務局 ・他の部会は、3 今年度の取組状況の部分に書いているので同じようにお願いしたい。

委員 ・3の第4回の3)の「就職フェアに向けてについて」のついてはいらぬと思う。

委員 ・取組状況の部分は次第に書かれている内容をあげているので、すべて「ついて」の表記はいらぬのではないか。

・<資料2>が「ガイダンス要項(案)」になっているので、実際に実施した内容のものをあげた方がよいのではないか。

事務局 ・確定版があるので差し替える。

委員 ・2 昨年度までの経過の3行目からの文章で「求職者と事業所とのつながり＝縁をつくることを大切に考え、」という部分が浮いていると思う。削除する方が文章としてすっきりするが、なんとかして活かしたい。「この状況の中で、求職者と事業所とのつながり＝縁をつくることを大切に考えるとともに、圏域としてできることを検討し、人材確保・育成に向けた具体的な方策

を発信するため、圏域独自のチラシを作成、活用して、・・・」とした方が文章としてつながりやすいと思った。

部会長 ・そのように訂正したい。

事務局 ・ちらし配布の状況が<資料1>となっているがいれるべきだろうか。

部会長 ・固有名詞が多いのでなしにしよう。

副部会長・5 次年度の取組について説明

事務局 ・今までの報告書の書き方では、箇条書きにはしていないので、段落で文章をまとめる形にしてほしい。

・チラシの更新だけではなく、大学や研修センター等への配布は必要なのであげておきたい。

副部会長・箇条書きにまとめた方がいいと思ったのだが、全文をさわって修正するので時間がほしい。

部会長 ・チラシのところで「より多くの圏域の参加を促し」というのは、求人募集がある事業所限定にした方がいいということだった。

委員 ・募集があったが採用が決まると掲載から抜くというのはややこしいのではないかな。募集のあるなしでチラシの更新をするのは難しい。

事務局 ・基幹相談支援センターが募集のあるなしを把握したい。求人がある事業所の見学を促した方がよい。

部会長 ・チラシには複数の事業所に参加いただいて見学を受ける形にし、見学希望の事業所に募集がない場合はその旨を伝えられる体制を整えるのはどうだろうか。具体的な方法はまた考えたい。

事務局 ・現在チラシに掲載されているライトホープは、求人がなくなったので抜くことになっている。

副部会長・それだと定期的な求人情報を含めた情報をアップデートする必要がでてくる。

事務局 ・チラシの更新の仕方を協議しなければならない。

部会長 ・方法は来年度協議するとして、報告書は「求人情報と連動するようにしなければならない」としておきたい。

委員 ・就職ガイダンスの実施のところの「各養成校」とは何か。「大学や専門学校」ではないのだろうか。

部会長 ・社会福祉士、介護福祉士、保育士などの養成校という言い方になる。ここは資格について述べているのではないので「養成校」ではない。

事務局 ・学校側から就職ガイダンスの依頼があるのではなく、チラシ配布を依頼した時に話の流れでガイダンスをやってみてはどうかと教授から声をかけていただいた。直接的に学生にガイダンスすることで良い面が見られたので来年度は他の大学でも実施する話が進んでいる。

副部会長・「依頼」ではなく、「要請」としようか。

事務局 ・チラシ配布の際に、こちらから働きかけることが必要になる。

部会長 ・「乙訓障がい者基幹相談支援センターが窓口となって、大学、専門学校と調整し、要請があれば回数等を制限せずに・・・」でどうだろうか。売り込みも必要だが「調整」という言葉でまとめてしまったが。

副部会長・そのようにしたい。

・商工会との連携についてはこのまま継続してもいいだろうか。

- 委員 ・ 結構です。
- 部会長 ・ 新任職員連続講座のところで、「移行するものとして、」は「移行し」でいいと思う。
・ 本日のご指摘を踏まえて再度修正し、最終的にはメール配信するので確認願いたい。
- 事務局 ・ 3月7日の運営委員会に間に合うように仕上げてください。

3 その他

- 部会長 ・ 就職フェアの京都新聞記事を次第の裏に印刷しているのでまた目を通してほしい。
・ 本年度最終なのでお一人ずつ感想や次年度に向けてのご意見をいただきたい。
- 委員 ・ 法人内で求人を担当しているが、地域での活動に参加できたことは有意義だった。
- 委員 ・ コロナの関係であまり部会に参加できなかったが、圏域内の法人が熱心に取り組まれていることがよくわかった。
- 委員 ・ 法人内では解決できず思い悩むことが多いが、たくさんの情報を得ることができて有意義な1年だった。
- 委員 ・ コロナの影響を受けてきたが、就職フェアが実施できてほっとしている。今後も微力だが協力していきたい。
- 委員 ・ 福祉の経験はないが、いろいろな職を経て今の仕事をしている。手話通訳等も高齢化で人が足りていない状況で部会とともに考えて勉強になった。
- 委員 ・ 福祉職がはじめてで、人材確保という課題について勉強勉強の1年だった。
- 委員 ・ 社会福祉協議会なので障害福祉に特化することはあまりないが、お互い人材確保は悩ましいことだと交流会に参加してよくわかった。
- 委員 ・ 就職ガイダンスが大きな成果となったと思う。自分の事業所の魅力を伝えるにはどうすればいいか、大変勉強になった。
- 委員 ・ 人材育成に携わる職員の交流会で行われた他法人の研修プログラムの紹介が、小さい事業所としては大変参考になった。
・ チラシに掲載するために昨年作成した動画が就職ガイダンスで流されて、学生に事業紹介として効果的であったのを見て手ごたえを感じることができた。
- 委員 ・ 福祉部局に異動して1年になるが乙訓の状況を知る機会となって良かった。
- 副部会長 ・ 至らない副部会長であつという間の1年間だった。みなさんの熱意が感じられる1年だったと痛感している。
- 部会長 ・ 準備部会が立ち上がってから3年目が終わろうとしている。いろんなことが形になった部会だと実感している。来年度を集大成の1年とし一旦区切りをつけようと考えている。事業を軌道に乗せて基幹相談支援センターにバトタッチしたり、われわれ事業所としてネットワークを作って自走させる形で自立支援協議会の部会としての役割を終えたい。ぜひ、来年度も引き続きご参集いただきたいと思う。
- 事務局 ・ 私事だが、今年度末で更新はしないので来年度はこの場にはいないことになる。この部会はかなり駆け足でやってきた。来年度で土台をきっちり固めて、基幹相談支援センターに引継ぎ終わることとなると思う。ありがとうございました。